

恩納村

童話・お話・意見発表大会

10月20日、恩納村童話・お話・意見発表大会が3年ぶりに開催されました。発表者は童話：池原心愛さん（恩納小3年）、平安名芽花さん（仲泊小3年）、田港菜月妃さん（山田小2年）、兼箇段蒼空さん（安富祖小3年）、お話：上原由彩さん（山田小5年）、幸地克樹さん（安富祖小6年）、池原心海さん（恩納小5年）、意見発表：又吉南海さん（うんな中3年）です。皆さん堂々としてとても素晴らしい発表でした。視聴された皆さんもとても感心していました。

11月12日に開催された中頭地区大会には、兼箇段蒼空さん、上原由彩さん、又吉南海さんが出場し堂々と発表しました。中頭地区大会では審査が難航する程素晴らしい発表ばかりでした。そんな中、意見発表の又吉南海さんが最優秀賞を獲得し、1月22日、読谷村の鳳ホールで開催される県大会に出場します。



宮沢和史さん

うんな中学校と交流

11月15日、うんな中学校の校歌を作詞した宮沢和史さんが開校後初めて中学校を訪れ、交流会が開催されました。

交流会では、長浜村長から感謝状の贈呈や生徒による校歌斉唱、校歌の創作舞踊が披露されました。

宮沢さんは、生徒に向け「感受性を育てるのは故郷です。これから恩納村をよく見て、触れて成長してほしい」また、「私の経験から、夢はどんどん周りに話をしてほしい。それが一人の夢からみんなの夢となり、周りが応援してくれるようになりませう」と話しました。



「新じゃが」を

いただきました！

村内保育施設、村学校給食センターへ「BUNZ RESORT」さんより、北海道産（丘の大地びえいのばれいしょ）80kgが寄贈され、村内保育施設、学校給食で提供されました。

恩納保育所での寄贈式では、新じゃがを手にした園児の皆さんが「ありがとうございます」と元気な声でお礼をしていました。給食で提供されたホクホクの北海道産の新じゃがを園児、児童生徒もおいしくいただきました。

